研究番号　2313 号　承認日　2025 年 8 月 25 日
研究実施予定期間　承認日 ～

情報公開文書

１．研究課題名	経腸栄養不可時の経静脈栄養移行タイミングの実態調査とアウトカム
２．研究の目的及び 実施計画の概要 （研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載）	ICU における栄養管理では可能な限り経腸栄養が優先されるが、腸管機能や循環動態などの理由で経腸栄養が不可能な場合、経静脈栄養への移行時期が臨床的に重要な課題となっている。欧米や国内のガイドラインでは、栄養不良リスクの高い患者では早期の経静脈栄養を推奨する一方、リスクの低い患者では遅らせることが勧められており、その最適な導入時期は依然として議論がある。 本研究では、当院 ICU において経腸栄養が不可能と判断された成人患者を対象に経静脈栄養早期開始および遅延開始を比較、その臨床転帰を後ろ向きに検討し、当院の実臨床に即した経静脈栄養の適切なタイミングを明らかにすることを目的とする。
３．研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	山田知輝・ER 救命救急科・副部長・大阪けいさつ病院
４．研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	箸尾早紀・栄養管理科・技術主任・大阪けいさつ病院
５．研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐侵襲を伴う研究 ☐軽微な侵襲を伴う研究 ☑侵襲を伴わない研究 〈共同研究の有無について〉 ☐多施設共同研究 ☑当院のみの研究 ☐その他（　　　　　　　　）
	〈介入について〉 ☐介入を伴う研究 ☑介入を伴わない研究（観察研究） 〈インフォームド・コンセント（アセント）について〉 ☐必要 ☑オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ☐新規（取得試料・情報の利用） ☑既存（取得試料・情報の利用） ☐既存（残余検体の利用） 【保存年数】 ☐３年（提供元の場合） ☐５年（提供先の場合） 〈モニタリングと監査について〉 ☐必要 ・モニタリング実施者 （　　　　　　　　） ・監査実施者 （　　　　　　　　） ☑不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☐あり （具体的な管理方法について：　　　　　　　　） ☑なし
６．研究の対象及び 実施予定期間	2024 年 1 月～2025.7 月　当院 ICU に入院にした患者
７．連絡先	氏名：箸尾　早紀　　所属：栄養管理課　　職名：管理栄養士

研究番号　2307 号　承認日　2025 年 8 月 25 日
研究実施予定期間　2025 年 1 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

情報公開文書

<table>
<tr><td>１．研究課題名</td><td colspan="2">周術期栄養指導介入による食事摂取量評価と生体電気インピーダンス分析法 (BIA 法)評価の関連性について</td></tr>
<tr><td>２．研究の目的及び実施計画の概要
（研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載）</td><td colspan="2">当院では 2024 年に GLIM 基準を用いた栄養評価を開始する以前から、がん周術期の BIA 法による体成分分析も施行してきた。

2025 年 1 月から 6 月に手術を施行した、胃癌・食道癌患者を対象とし、術前・術後での栄養指導における食事摂取量聴取による推定必要エネルギー量充足割合の変化と BIA 法による体液・骨格筋量の変化の関係を分析し、栄養指導の効果・栄養改善を検証する。

このことにより、栄養指導の際に BIA 法で得られた結果をより積極的に活用して、栄養改善につなげていくことができると考えている。</td></tr>
<tr><td>３．研究責任者
氏名・所属・職・所属機関</td><td colspan="2">山田知輝・ER救命救急科・副部長・大阪けいさつ病院</td></tr>
<tr><td>４．研究実施責任者
氏名・所属・職・所属機関</td><td colspan="2">瀬戸口優雅・栄養管理科・係長・大阪けいさつ病院</td></tr>
<tr><td rowspan="4">５．研究の分類</td><td>〈侵襲性について〉
□侵襲を伴う研究
□軽微な侵襲を伴う研究
■侵襲を伴わない研究</td><td>〈共同研究の有無について〉
□多施設共同研究
■当院のみの研究
□その他（　　　　　　　　　）</td></tr>
<tr><td>〈介入について〉
□介入を伴う研究
■介入を伴わない研究（観察研究）</td><td>〈インフォームド・コンセント（アセント）について〉
□必要
■オプトアウト</td></tr>
<tr><td>〈試料・情報の利用について〉
□新規（取得試料・情報の利用）
■既存（取得試料・情報の利用）
□既存（残余検体の利用）
【保存年数】
□３年（提供元の場合）
□５年（提供先の場合）</td><td>〈モニタリングと監査について〉
□必要
・モニタリング実施者
（　　　　　　　　　）
・監査実施者
（　　　　　　　　　）
■不要</td></tr>
<tr><td colspan="2">〈対応表の作成の有無について〉
□あり
（具体的な管理方法について：　　）■なし</td></tr>
<tr><td>６．研究の対象及び実施予定期間</td><td colspan="2">・西暦　　2025 年　1 月　　1 日～2027 年　3 月　31 日</td></tr>
<tr><td>７．連絡先</td><td colspan="2">氏名：瀬戸口優雅　　所属：栄養管理課　　職名：管理栄養士</td></tr>
</table>

研究番号　2296 号　承認日　2025 年 8 月 25 日
研究実施予定期間　承認日　～

情報公開文書

１．**研究課題名**	当院におけるリフィーディング症候群ハイリスク患者の現状と考察	
２．**研究の目的及び実施計画の概要** （研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載）	リフィーディング症候群は明確な診断基準がなく、現在は、飢餓状態への再栄養投与開始に伴う生化学的特徴所見として低リン血症などの電解質異常が考えられている。 当院の2015年～2022年の入院患者を対象としたBMI12以下の患者背景に関する調査では、低栄養リスクが高い患者にも関わらず血中のリン測定や栄養指標に関する検査が十分でなかったことが報告された。 一方で、2022年度診療報酬改定では早期栄養介入管理加算が拡大され、年々栄養介入に対する関心は高まってきている。 本研究では、2020 年～2021 年および 2023 年～2024 年の 2 つの時期に分け、それぞれの時期に入院した患者のリフィーディング症候群への介入状況を調査し、現状把握および課題を抽出することを目的とする。	
３．**研究責任者** 氏名・所属・職・所属機関	山田知輝・ER 救命救急科・副部長・大阪けいさつ病院	
４．**研究実施責任者** 氏名・所属・職・所属機関	箸尾早紀・栄養管理科・技術主任・大阪けいさつ病院	
５．**研究の分類**	**〈侵襲性について〉** □侵襲を伴う研究 □軽微な侵襲を伴う研究 ☑侵襲を伴わない研究	**〈共同研究の有無について〉** □多施設共同研究 ☑当院のみの研究 □その他（　　　　　　　）
	〈介入について〉 □介入を伴う研究 ☑介入を伴わない研究（観察研究）	**〈インフォームド・コンセント（アセント）について〉** □必要 ☑オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 □新規（取得試料・情報の利用） ☑既存（取得試料・情報の利用） □既存（残余検体の利用） 【保存年数】 □３年（提供元の場合） □５年（提供先の場合）	**〈モニタリングと監査について〉** □必要 ・モニタリング実施者 （　　　　　　　） ・監査実施者 （　　　　　　　） ☑不要
	〈対応表の作成の有無について〉 □あり （具体的な管理方法について：　　　　　　　） ☑なし	
６．**研究の対象及び実施予定期間**	2020 年 4 月～2024 年 3 月までに当院に入院にした患者	
７．**連絡先**	氏名：箸尾　早紀　　所属：栄養管理課　　職名：技術主任	